



はじめに

この移行マニュアルは、Cisco Identity Services Engine Releases 1.1 および 1.1.1 を対象としています。このマニュアルでは、Cisco Secure Access Control System (ACS) Release 5.1/5.2 データベースから Cisco Identity Services Engine (ISE) Release 1.1 アプライアンスへデータを移行するためのプロセスについて説明します。移行プロセスでは、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 から Cisco ISE 1.1 への Migration Tool を使用します。移行マニュアルのこのセクションでは、マニュアルの目的、対象読者、および構成について説明し、以下のトピックについて取り上げます。

- 「このマニュアルの目的」 (P.vii)
- 「対象読者」 (P.viii)
- 「マニュアルの構成」 (P.ix)
- 「このマニュアルの使用方法」 (P.ix)
- 「表記法」 (P.x)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xiv)
- 「関連資料」 (P.xi)
- 「通告」 (P.xii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xiv)

このマニュアルの目的

この移行マニュアルは、Cisco ISE 1.1 のマニュアルセットの一部であり、Cisco Secure ACS から Cisco ISE への Migration Tool を使用して既存のデータを Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 データベースから Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行する方法について説明しています。この移行マニュアルには、以下の情報が含まれています。



(注)

これ以降、この移行マニュアルでは、Cisco Secure ACS から Cisco ISE への Migration Tool (およびその省略形である Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool) は、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 データベースから Cisco ISE 1.1 アプライアンスへのデータ移行で使用するツールを表します。

- Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のインストール要件、前提条件、および移行のガイドライン。
- Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 の移行可能なデータ項目、および移行不可能なデータ項目の一覧。

- Cisco Secure ACS 5.1/5.2 データベースから Cisco ISE 1.1 アプライアンスへデータを移行するための段階的な手順。
- シスコのマニュアルへの参照リンク。これらのリンクでは、Cisco Secure ACS の以前のリリース (リリース 3.x および 4.x) のデータを移行できるようにするためのアップグレード パスを定義しています。



(注) Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool は Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 のデータの移行のみサポートしています。

Cisco Secure ACS の以前のリリース (3.x や 4.x など) のデータを、Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行可能な Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のステートへ移行するには、以下の複数手順のプロセスが必要です。

1. シスコのマニュアルに記載されているプロセスを使用して、Cisco Secure ACS 3.x または 4.x のデータを Cisco Secure ACS Release 5.0 のステートへアップグレードします (「はじめに」の[関連資料](#)を参照してください)。
2. シスコのマニュアルに記載されているプロセスを使用して、Cisco Secure ACS 5.0 のデータを Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 のステートへアップグレードします (「はじめに」の[関連資料](#)を参照してください)。
3. この移行マニュアルの手順を使用して、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool で、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のデータを Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行します (第 4 章「[Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用](#)」を参照してください)。

この移行マニュアルでは、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool を使用して既存の Cisco Secure ACS 5.1/5.2 データをエクスポートするためのプロセス、およびそのデータを Cisco ISE 1.1 アプライアンスへインポートするためのプロセスを説明することに重点をおいています。

既存の Cisco Secure ACS データを移行する前に、Cisco Secure ACS 5.1/5.2 システムと Cisco ISE 1.1 システムにおける関連データ構造およびスキーマの違いについて、十分に理解しておくことをお勧めします。

対象読者

この移行マニュアルは、Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool を使用して、既存の Cisco Secure ACS 5.1/5.2 データベース情報を Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行するネットワーク管理者を対象としています。

マニュアルの構成

この移行マニュアルは、以下のセクションで構成されています。

タイトル	説明
第 1 章「Cisco Secure ACS 5.1/5.2 から Cisco ISE 1.1 への移行概要」	Cisco Secure ACS-Cisco ISE の移行の概要、ソフトウェアの要件、サポートされているリリース、アプリケーション コンポーネント、移行可能なデータ項目、およびソフトウェア アーキテクチャについて説明します。
第 2 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool について」	Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の機能について説明します。このツールは、エクスポートおよびインポート、データの持続性、拡張性、ハイ アベイラビリティ、およびレポート機能をサポートしています。
第 3 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のインストール」	Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の要件、インストールの前提条件、インストールおよびセットアップするためのガイドラインと方法について説明します。
第 4 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用」	Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool を使用して、データベースから Cisco Secure ACS 5.1/5.2 データをエクスポートし、移行したデータを Cisco ISE 1.1 アプライアンスへインポートするための方法について説明します。
第 5 章「Cisco Secure ACS 3.x および 4.x から ACS 5.1/5.2 へのデータ移行」	Cisco Secure ACS の以前のリリースのデータを Cisco Secure ACS Release 5.0 のステートへアップグレードする処理の概要、および必要なマニュアルへのリンクについて記載しています。Cisco Secure ACS の以前のリリースに対してサポートされている移行パスは、データを Cisco Secure ACS Release 5.0 のステートへアップグレードする方法のみです。Cisco Secure ACS Release 5.0 のステートになると、このデータを Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 へアップグレードするためにサポートされているパスを使用できます。
付録 A「Cisco Secure ACS 5.1/5.2 および Cisco ISE 1.1 のデータ構造マッピング」	Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 システムと Cisco ISE 1.1 システムの間でデータ オブジェクトをマップする方法について記載しているマッピング表を提供します。
付録 B「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のトラブルシューティング」	Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用時に発生する可能性のある問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

このマニュアルの使用法

Cisco Secure ACS Release 5.1/5.2 のデータを Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行する前に、以下のセクションを読み、参考にしてください。

- 移行する前に Cisco Secure ACS と Cisco ISE 間のデータ オブジェクト、スキーマ、および属性の違いについて理解するには、[付録 A「Cisco Secure ACS 5.1/5.2 および Cisco ISE 1.1 のデータ構造マッピング」](#)を参照してください。
- Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のデータベース、データ オブジェクト、アーキテクチャ、およびデータを Cisco ISE 1.1 アプライアンスへ移行するプロセスの概要については、[第 1 章「Cisco Secure ACS 5.1/5.2 から Cisco ISE 1.1 への移行概要」](#)を参照してください。

- Cisco Secure ACS 5.1/5.2 と Cisco ISE 1.1 間の機能と構成の違いおよび類似点、特別な設定の推奨事項について理解するには、第 2 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool について」を参照してください。
- Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のインストール方法について理解するには、第 3 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool のインストール」を参照してください。
- Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool を使用して、既存の Cisco Secure ACS 5.1/5.2 のデータを Cisco ISE 1.1 へ移行するのに必要なプロセスを理解するには、第 4 章「Cisco Secure ACS-Cisco ISE Migration Tool の使用」を参照してください。

表記法

この移行マニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	用途
太字フォント	コマンド、キーワード、ユーザ入力テキストは 太字 で表示しています。
イタリック体フォント	ドキュメント名、新規用語または強調する用語、値を指定するための引数は、 <i>イタリック体フォント</i> で示しています。
[]	角カッコは次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • オプションの要素 • システム プロンプトへのデフォルトの応答
{ x y z }	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
courier フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



注意

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



(注)

「**注釈**」です。次に進む前に検討する必要がある重要情報、役に立つ情報、この移行マニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

マニュアルの最新情報

表 1 『Cisco Secure ACS 5.1/5.2 用 Cisco Identity Services Engine Release 1.1.x 移行ガイド』の最新情報

日付	説明
2012年7月10日	Cisco Identity Services Engine, Release 1.1.1
2012年3月19日	Cisco Identity Services Engine, Release 1.1

関連資料

リリース固有のマニュアル

表 2 に、Cisco ISE Release で利用可能な製品マニュアルを示します。Cisco ISE の一般的な製品情報については、<http://www.cisco.com/go/ise> から入手できます。エンドユーザ向けマニュアルは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/tsd_products_support_series_home.html の Cisco.com から入手できます。

表 2 Cisco Identity Services Engine の製品マニュアル

マニュアル名	参照先
<ul style="list-style-type: none"> 『Release Notes for the Cisco Identity Services Engine, Release 1.1』 『Release Notes for the Cisco Identity Services Engine, Release 1.1.1』 	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_release_notes_list.html
<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Identity Services Engine Network Component Compatibility, Release 1.1』 『Cisco Identity Services Engine Network Component Compatibility, Release 1.1.1』 	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/products_device_support_tables_list.html
<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Identity Services Engine User Guide, Release 1.1』 『Cisco Identity Services Engine User Guide, Release 1.1.1』 	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/products_user_guide_list.html
<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Identity Services Engine Hardware Installation Guide, Release 1.1』 『Cisco Identity Services Engine Hardware Installation Guide, Release 1.1.1』 	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_installation_guides_list.html
『Cisco Identity Services Engine Upgrade Guide, Release 1.1.1』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_installation_guides_list.html
『Cisco Identity Services Engine Migration Guide for Cisco Secure ACS 5.1 and 5.2, Release 1.1.x』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_installation_guides_list.html
『Cisco Identity Services Engine Sponsor Portal User Guide, Release 1.1.x』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/products_user_guide_list.html

表 2 Cisco Identity Services Engine の製品マニュアル (続き)

マニュアル名	参照先
『Cisco Identity Services Engine CLI Reference Guide, Release 1.1.x』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_command_reference_list.html
『Cisco Identity Services Engine API Reference Guide, Release 1.1.x』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_command_reference_list.html
『Cisco Identity Services Engine Troubleshooting Guide, Release 1.1.x』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_troubleshooting_guides_list.html
『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Identity Services Engine, Cisco 1121 Secure Access Control System, Cisco NAC Appliance, Cisco NAC Guest Server, and Cisco NAC Profiler』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_installation_guides_list.html
『Cisco Identity Services Engine In-Box Documentation and China RoHS Pointer Card』	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/products_documentation_roadmaps_list.html

プラットフォーム固有のマニュアル

Policy Management Business Unit マニュアルへのリンクは、以下のサイトの www.cisco.com を参照してください。

Cisco ISE

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/prod_installation_guides_list.html

- Cisco Secure ACS
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9911/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC アプライアンス
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6128/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC Profiler
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8464/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC ゲスト サーバ
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10160/tsd_products_support_series_home.html

通告

本ソフトウェア ライセンスに関連する通知内容を以下に示します。

OpenSSL/Open SSL Project

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

License Issues

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License:

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)".
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License:

Copyright © 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)".

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptography-related.

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License].

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。